

核兵器を巡る世界のリスクと対応策 （「ひろしまラウンドテーブル」成果報告会）

参加費
無料

厳しい国際情勢の中、これからの1年間に、どのような核リスクが考えられるか？どのように対応するのか？
「ひろしまラウンドテーブル」では、国内外の第一線で活躍する有識者が、今後1年の核兵器を巡る動向を展望して核リスクを
特定し、国際社会が採りうる政策について議論しました。

※「ひろしまラウンドテーブル」は、核兵器のない平和な国際社会の実現に向けて、国内外の専門家が核軍縮・軍備管理をめぐる
課題と、その進展に必要な政策について議論する国際会議です。（広島県、一般社団法人へいわ創造機構ひろしま(HOPe)主催）
本成果報告会では、会議参加者が、議論の内容と成果を自ら報告します。この分野をリードする専門家の知見に
直接触れられる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

【日 時】 2026年9月3日(木) 15:30~17:00
【会 場】 エソール広島 研修室1、2（広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー10階）
※チラシ下部の地図参照

【次 第】

- 開会挨拶：横田美香
（広島県知事、(一社)へいわ創造機構ひろしま会長(HOPe)）
- 基調講演：ドー・フン・ヴィエット
（国連ベトナム政府代表部常駐代表、第11回 NPT 運用検討会議議長）

○ パネルディスカッション

【モデレーター】

秋山信将：

一橋大学教授、日本国際問題研究所 軍縮・科学技術センター所長

【パネリスト】

ドー・フン・ヴィエット：

国連ベトナム政府代表部常駐代表、第11回 NPT 運用検討会議議長

マンプリート・セティ：

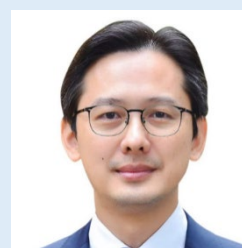
インド空軍力研究センター(CAPSS)特別フェロー

ジェフリー・ルイス：

スタンフォード大学国際安全保障・国際協力センター上級研究員



横田美香
広島県知事
(一社)へいわ創造機構ひろしま会長



ドー・フン・ヴィエット
国連ベトナム政府代表部常駐代表、
第11回 NPT 運用検討会議議長



秋山信将
一橋大学教授
日本国際問題研究所 軍縮・
科学技術センター所長



マンプリート・セティ
インド空軍力研究センター(CAPSS)
特別フェロー



ジェフリー・ルイス
スタンフォード大学国際安全保障・
国際協力センター上級研究員

【参加者】 80名(対面) ※ハイブリッド開催
【通 訳】 日英同時通訳あり
【申込締切】 2026年8月31日(月)
【主 催】 広島県、(一社)へいわ創造機構ひろしま(HOPe)
【協 力】 (公財)日本国際問題研究所 軍縮・科学技術
センター

参加登録はこちらから⇒



○原爆ドーム側の入口ではなく、地図記載の南側の
入口からご入場ください。